

障がい者、健常者がふれあい、協力しあえるイベント 第14回 海のバリアフリーまつり2019開催!!



~No barrier, Be free!~
2019.9/14~15 in Marina KAWAGE

取材協力: マリーナ河芸 三重県津市河芸町東千里854-3 TEL 059-245-5001 URL <http://www.marina-kawage.co.jp>



9月14日(土)~15日(日)、三重県津市のマリーナ河芸で、「第14回 海のバリアフリーまつり 2019」が開催された。このイベントは障がいの有無や年齢の大小に関わらず、誰もがマリンスポーツを楽しむことができるイベントになっている。今年も全てのイベントは障がい者と健

常者が共に楽しむものとして、運営スタッフやボランティアスタッフは一般の参加者達に積極的に声かけを行っており、ふれあい、協力しあえる雰囲気がつくられていた。マリーナは車イスでも利用しやすいスロープや桟橋を整備しており、来場した方々もスムーズにイベントに



イベント当日は大勢の人が来場した。会場では保安庁の出展もあり、海の安全を呼びかけた。また、B&G財団の紹介ブースやワインのグラス販売も行われた。



こちらのテントはしいたけ等を販売。他にも手芸品を展示するテントもあった。また、飲食ブースも充実しており、ご当地フードやベビーカステラも人気を集めた。



ランチ時には大勢の方々が食事を楽しみ、射的は子供達からも好評だった。他にも福祉車両の展示や電動カートが展示されており、来場者から注目を集めていた。



ヤマハのバイクも展示されていた。こちらの船には子供達が絵を書いてくれた。室内ではレゴやパラリンピック種目「ポッチャ」を体験するコーナーが設けられた。



今年オープンの「海の乗馬倶楽部エル カバージョ」も注目を集めた。他にもピアノ体験やダンス披露などがあり、「音楽」も融合したイベントになっていた。



乗船体験の受付テントはイベント開始直後から大きな賑わいを見せた。ライフジャケット着用も徹底され、海上保安庁のキャラクター「うみまる」も登場した。



マリーナ河芸では車イスの方でも海にアクセスしやすいスロープや広めの桟橋を整備している。また、アクセスディンギーに乗る際はクレーンも使用されていた。



大型のSUPも人気を集め、桟橋には多くの体験希望者が集まった。また、アクセスディンギーやカヤックも人気で、来場者は様々なマリンスポーツを楽しんでいた。



参加できていた。会場の陸上テントでは手芸品、工芸品、フードなどの販売が行われており、来場者は興味深そうにテントを1つずつ見て回っていた。海上ではボートやヨットの乗船体験が行われ、ボートやヨットに乗ってマリーナを出航し、海でクルージングを楽しむことができた。他にもアクセスマーキングやシーカヤック、更には大きなSUPに乗ってマリーナ内で遊ぶこともでき、来場者は楽しそうにマリンスポーツを体験していた。このイベントは誰もが平等に海で遊べて、その素晴らしさを体験できるので、ぜひ来年も大勢の方に参加して欲しいと思う。



日曜日の午後からは海の運動会も開催され、カヤックを使ったパン食い競争ではスタートと同時にそれぞれが一先懸命カヤックを漕いでいた。



パン食い競争ではカヤックに乗ってパンをキャッチするのだが、これが以外と難しい。スピードや角度を微妙に調整しながら、上手にパンをゲットしていた。

このイベントではプレジャーボートやヨットにも体験乗船することができた。こうした経験を通じて、きっと多くの人達に海の素晴らしさが伝わったと思う。



パン食い競争の後には玉入れも開催されており、カゴを持ってカヤックに乗り込んだマリーナの阪本支配人の周りには沢山のカヤックが集まっていた。